社協だより

第149号
2011.3.1
点字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会　〒822-0034　直方市山部側筒谷616-145
TEL 0949(23)2551　FAX 0949(23)2552
e-mail : nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp　HP : http://www.nogatashakyo.org/

高齢者宅を訪問する民生委員・児童委員（民生委員・児童委員の詳細は2ページへ）

もくじ

●民生委員・児童委員とは…… 2
●ボランティア募集…… 3
●地域の輪(ボラ連)、図書室 …… 4
●使用済切手のお礼・ご寄付…… 5
●おもちゃ図書館、もちつき会報告、ボランティアのつどい開催案内、認知症相談…… 6

kantera カンテラ

ある民生委員・児童委員の活動日誌から

1月某日

夜中に区長から電話があり「隣町内にいるBさんの様子がおかしい、明日にでも訪問してみては」と情報をいただき、すぐに訪問すると、こたつの中に衰弱状態で横たわっているBさんを発見した。食事をした形跡がなく、いつ食べたのかを尋ねると「正月に娘夫婦が持ってきたおせちを食べたが、それ以降は何も」と言う。当日は祝日でしかも夜中。市役所保護課長と連絡が取れ「救急車で病院に」との指示を受け、搬送してもらった。「あと数時間遅れていたら、亡くなっていたかも」との連絡があり、大事に至らずほっとした。

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

広げよう地域に根ざした思いやり

民生委員 児童委員

民生委員・児童委員は、皆さんの暮らしを応援するため、厚生労働大臣から委嘱され活動している一番身近な相談員です。

相談内容やプライバシーは守られます。困りごとや悩みごとがあれば安心してご相談ください。

核家族化の進行により一人暮らし高齢者世帯や母子・父子世帯の増加は、全国的な問題です。

そんな時代背景が原因となり、孤独死や虐待の発生が日々報じられるこのごろですが、悲惨な事件を少しでも防ごうと、目立たないながらも奮闘しているのが、民生委員・児童委員(以下、民生委員)です。

最近は役割の大変さから、民生委員を引き受ける人が少なく困っているのが現状ですが、幸い直方市では昨年末の改選で多くの新任民生委員が就任してくれました。しかもやる気満々の人ばかりで、本当にありがたいことです。

生活環境・健康の不安・子育ての悩みなど一人で悩まず気軽にご相談してください。市役所・福祉事務所・医療機関・警察・社協などと連携して親切に対応してくれますよ。

(T・S)

訪問インタビュー

ご近所で一人暮らしをされている、歌と映画が大好きなトシエさん(92歳)と韓国ドラマと小物作りの大好きなツトエさん(86歳)ご姉妹に、お話を伺いました。

Q、お二人にとって民生委員とはどのような存在ですか?

A、何かあればいつも頼りにしています。いるというだけでとても心強い存在です。

訪問時は、素敵な花とおいしい食事で、おもてなしいただき、ありがとうございました。

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

ボランティア募集

直方市ボランティアセンターでは、下記の団体で障害当事者とともに活動していただけるボランティアを募集しています。少しのお時間でも構いません。新しい出会いにぜひチャレンジしてください。

「ピープルファースト福岡大会を応援する会」

昨年の京都大会で挨拶する青年学級代表

ピープルファーストとは、障害当事者が「わたしたちは《障害者》である前に人間です」という考え方のもと、日常生活や社会参加のあり方を交流や学習を通し、自己選択・自己決定を基盤に据えた生き方を創造するための活動です。

ピープルファースト大会は、知的障害のある当事者の交流する機会として、16回の全国大会を重ねてきました。

17回目の全国大会は、北九州市共催のもと「ウェル戸畑」を会場とし、平成23年9月17日(土)・18日(日)に開催されます。現在は開催に向けて、準備を進めているところです。地元福岡では当事者組織の、直方市知的障害者青年学級(以下、青年学級)が大会の中心的役割を担います。

青年学級代表船本静剛さんは「ピープルファーストは、地域によって認知度の違いはあるが、多くの仲間や支援者と集っていきたい」と話されていました。

趣旨に賛同していただける人は、会員として入会していただき、当事者会議、資金協力などの支援をお願いいたします。

【お問い合わせ】
責任者　細坂公文
☎093(681)3262

直鞍視覚障害者とボランティアの会「アイネット」

防犯について学習するアイネット会員

アイネットとは文字どおり、直鞍地区を中心とした視覚障害者と視覚障害者を支援するボランティアが集まっている団体で、平成14年に設立しました。

活動は、定期総会・交流会・日帰りバス旅行・研修会・そば打ち・パン作り体験やチューリップの球根植えなどを実施しています。

会員は、地域の盲人協会や点訳サークルなどの団体会員と個人会員で構成されています。

アイネット副会長高松久さん(視覚障害当事者)は「日帰りバスハイクなど、視覚障害者が楽しみにしている事業に、ボランティア不足による人数制限が生じてしまっている」と現在の課題を話されていました。

会員になるために特別な知識や技術は必要ありません。まずは、見学だけでも結構です。気軽にご参加ください。

【年会費】
団体会員：3000円
個人会員：500円
【お問い合わせ】
アイネット事務局長
楠原宏和
☎0949(32)4185

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

地域の輪

市内にはさまざまな地域に根ざした独自の福祉活動があります。
そんな皆さんの活動をご紹介するコーナーが地域の輪です。

誰もが使える公共交通の拠点に

～要望書提出のその後～

直方市ボランティア連絡協議会

会長　田中　壽子

当事者とエレベーターを調査する会員

直方市ボランティア連絡協議会（以下、ボラ連）は、平成21年10月に障害当事者協力のもと、直方市・ＪＲ九州に「ＪＲ直方駅改築に伴う要望書」（以下、要望書）を提出しました。

平成22年12月のボラ連定例会において、直方市・ＪＲ九州より、要望書についての回答がありましたので、24項目要望した一部をご紹介します。

（要望）

エレベーターは、車イスが1台入っても余裕のあるスペースを確保してください。

（回答）

自由通路には、東側西側に1基ずつエレベーターを設置しています。サイズは幅１６０㎝、奥行１５０㎝です。（15人乗り）

各ホームには、1基ずつエレベーターを設置します。サイズは幅１４０㎝、奥行１３５㎝です。（11人乗り）

（要望）

ホームにも、聴覚障害者が電車の遅れが伝わるよう電光掲示板を設置してください。

（回答）

直方駅には列車の遅れを自動的に受信する設備が無く、設置するには多額の費用が発生します。駅の各ホームには乗換こ線橋の階段を降りた場所に、電光ＬＥＤ式の発車時刻標を設置し列車の遅れを案内出来るようになっております。

全ての要望項目と回答は、直方市社協ホームページに掲載しています。一度ご覧ください。

図書室

ピープル・ファースト　支援者のための手引き

著　者　ビル・ウォーレル
訳編者　河東田（かとうだ）　博（ひろし）
発行所　株式会社現代書館

ピープル・ファーストという言葉を皆さんは、ご存知だったでしょうか？

恥ずかしながら、私は知りませんでした。

この言葉を要約すると「障害者、特に知的障害のある人も、障害者である前に、一つの人格を持つ人間である」という意味です。

この本では、知的障害を持つ人のことを「当事者」、当事者の手助けをする個人又はグループを「支援者」と呼びます。

自分自身に関わることは自分たちで解決しようと主張し始めている当事者に、支援者と呼ばれる人々は如何にしてそのパワーを導き出すのか、そのための組織をどのように組み立てると良いのかなどについて書かれています。

一読されてみては・・・

（Ｙ・Ｋ）

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

収集ボランティア 活動報告

ボランティアの心を届けました。

職場や個人で出来る身近なボランティア活動です。ぜひ、ご協力ください。

平成23年1月末までにご協力いただいた使用済み切手を、下記の団体に送付しました。

ボランティア団体、自宅、職場で切手収集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。紙面にてお礼を申し上げます。

来年度も引き続きご協力をお願いいたします。

送り先	目的・活用方法	送ったもの
日本キリスト教 海外医療協力会(JOCS) http://www.jocs.or.jp	より貧しく、弱い立場におかれた海外の人々に医師・保健師・看護師などの派遣や、現地で保健医療を学ぶ人に奨学金の支給など。	使用済み切手 …約30kg (約30,000円分相当)

切手を切り取る時のお願い

切手の周りは5ミリ～1センチ程度離して切り取ってください。

集まった切手は、本会ボランティアセンターまでお持ちください。まとめて送付いたします。

【場所】
直方市総合福祉センター
(直方市山部 616-145)

【お問い合わせ】
直方市社会福祉協議会
直方市ボランティアセンター
☎0949(23)2551

ご寄付ありがとうございます。

平成22年11月11日～平成23年2月10日
26件　合計金額428,850円
(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)

香典返し寄付金

- 中泉　山田　千代子
- 植木　中村　ユリ子
- 植木　友原　恵子
- 戸畑区　五郡　典夫
- 下新入　(故)高尾　義則
- 永満寺　末次　スミ子
- 頓野　本田　亨
- 感田　七田　ヒデ子
- 知古　藤木　雅人
- 上新入　田代　尚子
- 新町　飯野　啓子
- 宇部市　加藤　信幸
- 頓野　籠　クミ子
- 感田　中牟田　眞一
- 頓野　(故)小林　京子
- 頓野　舌間　義喜
- 頓野　(故)長山　喜久夫
- 中泉　(故)友原　チズ子
- 植木　(故)高木　政次
- 下新入　渡辺　ヨシ子
- 上頓野　井手野下　新一
- 頓野　(故)川添　テル子
- 感田　日髙　徳枝
- 植木　鑓水　弘子

一般寄付金

- 福岡県立鞍手竜徳高等学校福祉科

ご寄付について

本会では、皆様(個人・法人など)から金額にかかわらず、年間を通じてご寄付を受け付けております。例えば

- 香典返しやお祝い(結婚式・快気祝いなど)の一部
- チャリティーバザーなどの一部
- 学校や職場での募金の一部
- 企業の社会貢献としての寄付　など

寄付の種類には「一般寄付」と「指定寄付」の2種類があり、「一般寄付」は地域福祉活動全般、「指定寄付」は使用目的を指定できる寄付となっております。ぜひご検討ください。

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

喜ぶ笑顔に作る喜びが

おもちゃ図書館のおがた

クリスマス会で踊る参加者とスタッフ

おもちゃ図書館のおがたでは、平成22年12月18日におもちゃの部屋にて初めてのクリスマス会を開催しました。講師の行正さん指導のもと、スタッフがハンドベルを練習し、参加された33名と「ジングルベル」・「きよしこの夜」のハンドベル演奏やダンス、指人形劇などを行い、楽しいクリスマス会になりました。

今回は布絵本、布おもちゃについてもご紹介します。製作はスタッフ、ボランティアが開館日に談笑しながら、子どもたちとの遊びの合間に一針ずつ縫って製作しています。自宅で製作してくれるボランティアもいて大助かりです。製作に時間が必要ですが、子どもたちの喜ぶ笑顔を思い浮かべながら楽しく作っています。

先日は3ヶ月掛けて布絵本「いないいないばあ」が出来上がりました。以前製作した、スイカの布おもちゃ・エプロンシアターも好評です。

子どもたちの利用が増えたため、作品を増やしたいのですが、製作者が不足気味で思うように出来上がりません。裁縫好きな人、興味のある人は一緒に活動しませんか。

ぜひ一度ご来館ください。お待ちしています。

（K・I）

【お問い合わせ】
直方市社会福祉協議会
（おもちゃ図書館のおがた事務局）
☎0949（23）2551

日曜出会いの広場「もちつき会」報告

勢いよくもちをつく参加者

平成22年12月19日（日）、直方市総合福祉センターにて、もちつき会が行われました。障害も年齢も関係なく、沢山の人が集まり、薪を燃やす人、もち米を蒸す人、つく人、混ぜる人で賑わいました。

子どもたちは顔や頭にもち粉を付け、走り回り、職員、家族、ボランティアの人たちまでが顔を真っ白にして、大声をあげて笑いました。

臼の中のもちが飛び出すハプニングもありましたが、出来上がったもちを紙皿と箸を持ち、「美味しい」「美味しい」と笑顔で食べる姿はとても印象的でした。

その中でも注意すべき点は、気配り・目配りをして事故のないように心がけることです。

最後に、漬物名人さんの漬物は最高でした。

（T・Z）

ボランティアのつどい開催

熱戦を繰り広げる参加者
（昨年の様子）

「直方ボランティアのつどい」を直方市ボランティア連絡協議会との共催で開催します。

このつどいは、ボランティアや障害児者、高齢者、子どもたちなどが交流を深めることを目的とし、毎年多くの出会いがあります。

現在活動中の人、ボランティア活動に興味のある人、新しい自分探しをしてみませんか。ぜひ一度参加してください。

【日　時】
平成23年3月27日（日）
10時～14時頃まで

【内容及び場所】
午前…風船バレー
直方西小学校体育館
午後…交流会
直方市総合福祉センター

【お問い合わせ】
直方市社会福祉協議会
☎0949（23）2551

認知症の悩みご相談ください

・親が認知症かも？
・介護がつらい
話を聞いて欲しい。など

【相談日時】
毎月第4水曜日
13時～16時

【場　所】
直方市総合福祉センター
（直方市山部616-145）

【お問い合わせ】
直方市社会福祉協議会
☎0949（23）2551

編集後記

所在不明の高齢者が全国で相次いでいる問題は、民生委員頼りの福祉行政の死角を浮き彫りにしたという新聞記事を目にした。

地域の見守り役でもある民生委員に重い負担がのしかかり、環境の変化が活動の厳しさに拍車をかけている。

個人情報保護やプライバシーよりも大事な命が、危険にさらされているように感じられて仕方がない。

（M）

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

介護についてのご相談お受けします。お気軽にどうぞ。　直方市社協ケアプランサービス　（担当）田口　（電話）0949（29）5080